

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【公表番号】特表2001-524954(P2001-524954A)

【公表日】平成13年12月4日(2001.12.4)

【出願番号】特願平10-543114

【国際特許分類第7版】

C 0 7 D 211/60

A 6 1 K 31/445

A 6 1 K 51/00

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 25/30

A 6 1 P 25/36

// C 0 7 M 5:00

【F I】

C 0 7 D 211/60

A 6 1 K 31/445

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 25/30

A 6 1 P 25/36

A 6 1 K 49/02

A

C 0 7 M 5:00

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

同時に出願審査請求書あり

## 手続補正書

平成17年4月7日



特許庁長官 殿

### 1. 事件の表示

特願平10-543114号



### 2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所 アメリカ合衆国 ワシントン ディーシー 20057

ボックス 571246 エヌダブリュ

サーティーセヴァンス アンド オー ストリート

名 称 ジョージタウン ユニヴァーシティー

### 3. 代理 人

識別番号 ~~100073184~~

住 所 神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-3

新横浜KSビル 7階 柳田国際特許事務所

7318 氏 名 柳田 征史

### 4. 補正命令の日付 なし



5. 補正の対象

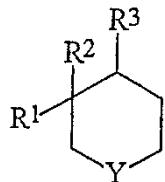
出願翻訳文の「請求の範囲」の欄

6. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙の通りに補正する。

請求の範囲

## 1. 化学式 (I) の化合物：



(I)

であって、ここで、

YがN R<sup>6</sup>、-C(R<sup>4</sup>)(R<sup>5</sup>)-、または-〇-であり；

R<sup>1</sup>が-C(=O)OR<sub>a</sub>、シアノ、(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルキル、(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルカノイル、(C<sub>2</sub>-C<sub>6</sub>)アルケニル、(C<sub>2</sub>-C<sub>6</sub>)アルキニル、またはWにより3の位置で必要に応じて置換された1, 2, 4-オキサジアゾール-5-イルであり、ここで、いずれの(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルキル、(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルカノイル、(C<sub>2</sub>-C<sub>6</sub>)アルケニル、(C<sub>2</sub>-C<sub>6</sub>)アルキニルが1, 2または3Zにより必要に応じて置換されていてもよく、ここで、各々のZが独立して、ニトロ、シアノ、(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルコキシ、(C<sub>2</sub>-C<sub>6</sub>)アシルオキシ、C(=O)OR<sub>b</sub>、C(=O)NR<sub>c</sub>R<sub>d</sub>、またはS(=O)<sub>n</sub>R<sub>e</sub>であり；そして、R<sup>3</sup>が(C<sub>6</sub>-C<sub>10</sub>)アリール、5-10員のヘテロアリール、(C<sub>6</sub>-C<sub>10</sub>)アリール(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルキル、5-10員のヘテロアリール(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルキル、(C<sub>6</sub>-C<sub>10</sub>)アリールカルボニル、または5-10員のヘテロアリールカルボニル、ここで、いずれのアリールまたはヘテロアリール置換基が1, 2または3Zにより炭素上で必要に応じて置換されていてもよい；

もしくは、

R<sup>1</sup>が-CH<sub>2</sub>-、または-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-であり、ここで、R<sup>1</sup>がR<sup>3</sup>のオルト位置で炭素に結合されており；そしてR<sup>3</sup>が(C<sub>6</sub>-C<sub>10</sub>)アリール、または5-10員のヘテロアリールであり；

R<sup>2</sup>が水素または(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルキルであり；R<sup>4</sup>およびR<sup>5</sup>が独立して(C<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>)アルキルであり；

$R^6$ が水素、 $(C_1 - C_6)$  アルキル、 $(C_1 - C_6)$  アルカノイル、または $S(O)_{2}R_h$ であり；

$n$ が0、1または2であり；

$W$ が、1、2または3 $Z$ により必要に応じて置換された、 $(C_1 - C_6)$  アルキル、またはフェニルであり；

$R_a$ から $R_s$ が独立して水素または $(C_1 - C_6)$  アルキルであり；そして

$R_h$ がH、 $(C_1 - C_4)$  アルキル、またはフェニル；もしくは薬学的に受け入れられるそれらの塩であり； $R^3$ がフェニルではないとすると、 $R^1$ がメトキシカルボニルまたはアセトキシメチルであり、 $R^2$ が水素であり、 $Y$ が $NR^6$ であり、 $R^6$ がメチルであることを特徴とする化合物。